

令和3年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	多文化共生推進センターの管理運営に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	8	
政策	個人が尊重しあう多様な市民交流をつくります	担当課室	企画財政課			
施策	世界と結びつく国際化の促進	担当課室長	小笠原 直樹			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	外国人住民の利便性向上のため、タブレット端末による多言語アプリの導入や通訳・翻訳ボランティアを活用し、多言語による相談を受け付ける。	③令和3年度に取組む改革・改善内容	翻訳機などの情報整理を行い、庁内での連携を図るとともに、通訳・翻訳ボランティアを活用し、相談体制を充実させる。
②①に基づく取組み結果	多言語アプリの導入を行い窓口の相談体制の充実を図ったが、新型コロナウイルスの影響により通訳・翻訳ボランティアの活動機会が減少した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市内の外国人及び日本人	意図(対象をどうするのか)	多文化共生社会の実現
②事務事業の概要	多文化共生推進センターを拠点として、外国人市民等に学習機会の提供、情報発信、相談等を実施するもの。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	外国人住民が増加傾向にある中で、今後も外国人の方が暮らしやすいまちづくりにつながる施策や相談受け入れ態勢を実施していく必要がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和2年度の事業の成果	プラザ通信の発行(10回)						
②成果を表す指標	指標名称		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	算定根拠
	i	市内外国人数	1645	1725	1706	人	統計かまがや
	ii	多文化共生推進連絡協議会団体数	4	4	4	団体	業務取得
	iii	多文化共生推進センター来所者数	2494	2176	228	人	業務取得
③事務事業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令和2年度決算(事業費)の主な内訳			令和3年度予算	
事業費(千円)	4,783	3,396	金額(千円)	内容		4,287	
国支出金(千円)		1,298	788	外国語通訳者報酬			
県支出金(千円)			1,819	会計年度任用職員報酬			
市債その他(千円)			3	ボランティア謝礼			
一般財源(千円)	4,783	2,098				4,287	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	認知度が低く、さらに新型コロナウイルスの影響により、窓口以外の相談方法を検討する必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	2普通	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	多言語での相談体制や相談先の案内について整理し、拠点として定着させていく必要があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和2年度の計画	令和2年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	0	当初		0	R1からの繰越	
		R1⇒R2繰越				
③達成状況		補正			現年分	
④未完了・非着手の理由						
	令和3年度への繰越額(単位:千円)					